

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等		農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
				慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量		策定時期等
米	水稻	一般品種平坦地	(稚苗機械移植)	19	9	9.0	4.5	左記の慣行の農業成分使用回数に畦畔除草剤(慣行3回)は含まれない。	①、⑩、⑬
		一般品種準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)	21	10	9.5	4.7		⑬
		一般品種高冷地	(稚苗機械移植)	16	8				①、⑩、⑬
		コシヒカリ平坦地	(稚苗機械移植)	20	10	7.5	3.7		⑩、⑬
		コシヒカリ準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)						⑧、⑩、⑬
		コシヒカリ高冷地	(稚苗機械移植)						
	飼料用米	一般品種	11	5	9.0	4.5		⑪	
	稲WCS	一般品種	10	5	9.0	4.5		⑪	
麦類	小麦			7	3	10.0	5.0		②、④
	ライ麦	秋まき		6	3	10.0	5.0		⑫
雑穀類	キビ	露地普通栽培		1	0	7.0	3.5		⑩
	トウモロコシ(子実)	露地普通栽培		8	4	26.0	13.0	ポップコーン用を含む	⑩
	スイートコーン	トンネル栽培、露地普通栽培		8	4	26.0	13.0		②
	そば	秋そば・夏そば		1	0	1.5	0.8		⑨
豆類 (種実)	大豆			9	4	6.0	3.0	黒大豆を除く	②、④
	小豆	大納言・普通小豆		7	3	2.0	1.0		⑨
	ラッカセイ			4	2	3.0	1.5		④
	その他の豆類(種実)	インゲンマメ、ソラマメ等		6	3	6.0	3.0		⑨
いも類	カンショ	早掘り(7~8月収穫)		6	3	4.0	2.0		②
		普通掘り(9月~11月収穫)				6.0	3.0		②、④
	サトイモ	海老芋・露地		9	4	32.0	16.0		②
		石川早生丸他・露地		9	4	30.0	15.0		②
		在来種・露地高冷地		8	4	21.0	10.5		⑩
	パレイショ	早掘り(トンネル栽培 4~5月収穫)・砂質土		8	4	20.0	10.0		②
		春作普通栽培(5~8月収穫)・壤土		12	6	18.0	9.0		②
	やまのいも	ナガイモ	秋冬どり、11~12月収穫	9	4	38.0	19.0		②
	自然薯		11	5	32.0	16.0		④	
その他のいも類	キクイモ、ヤーコン(塊茎)、コンニャクなど		6	3	15.0	7.5		⑨	
野菜類 (葉茎菜類)	ナバナ	秋冬どり、11~3月収穫		4	2	29.0	14.5		②
	さいしん(油菜芯)	施設・露地(周年)		8	4	15.0	7.5		④
	ケール	夏まき(7~8月播種)	10~3月収穫	11	5	40.0	20.0		
		秋まき(10月播種)	3~5月収穫	7	3	32.0	16.0		⑩
		4~5月収穫	(1月播種)	10	5	40.0	20.0		
	コマツナ	施設周年		7	3	15.0	7.5		②、⑦
		露地栽培		7	3	15.0	7.5		⑬
	山東菜	周年		7	3	15.0	7.5		⑨
	タアサイ	施設・露地(周年)		12	6	12.0	6.0		④
	チンゲンサイ	春・夏・秋どり(3~11月収穫)		7	3			化学肥料使用量は1作当たり	
		冬どり(12~2月収穫)		5	2	10.0	5.0		②
	てごろ菜	秋どり、10~11月収穫		6	3	15.0	7.5		②
	ミズナ	秋冬どり(11月~3月収穫)		6	3				②、④
		施設4~10月収穫		9	4	12.0	6.0		⑦、⑬
	ルッコラ	施設春~秋収穫		5	2	8.0	4.0		⑦
	非結球	秋冬どり(11~3月収穫)、沖積・洪積		8	4	29.0	14.5		②
	メキャベツ	秋冬どり(11~3月収穫)、海成砂土				39.0	19.5		
	非結球レタス	年内どり		16	8	23.0	11.5		②
		年明どり		13	6	29.0	14.5		
	サンチュ	春・夏・秋どり(4~11月収穫)		8	4				
冬どり(12~3月収穫)			7	3	12.0	6.0		③	

静岡県の慣行レベル

作物名	品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考		
		慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量		策定時期等	
野菜類 (葉茎菜類)	エゴマ	露地普通	0	0	7.0	3.5		(4)
	シソ	露地普通	10	5	30.0	15.0		(4)
	バジル	施設普通	10	5	15.0	7.5		(7)
	コリアンダー	施設(周年)	6	3	19.0	9.5	香菜、シャンツァイ	(4)
	セルリー	露地(秋どり、11~12月収穫)	30	15	49.0	24.5		(2)
		ハウス(冬どり、12~3月収穫)	26	13	50.0	25.0		
		ハウス(春どり、3~6月収穫)	22	11	40.0	20.0		
	アスパラガス	ハウス、トンネル、露地	8	4			4月~5月収穫	(9)
		ハウス立茎長期栽培	26	13	36.0	18.0	2月~4月及び6月~10月収穫	(10)
	食用アロエ	周年(1~12月収穫)	0	0	10.0	5.0		(3)
	エンサイ (クウシンサイ)	施設春~秋収穫	10	5	34.0	17.0		(7)
	カリフラワー	秋冬どり(9~3月収穫)	18	9	28.0	14.0		(7)、(13)
	キャベツ	年内どり	15	7	30.0	15.0		(2)
		年明どり						
		春どり	8	4	36.0	18.0		
		夏どり	16	8	36.0	18.0		
		年内どり・年明けどり	15	7	36.0	18.0		
	レッドキャベツ	春どり	8	4	31.0	15.5		(10)
	クレソン	露地普通栽培	2	1	3.0	1.5	水掛け流し	(10)
	シュンギク	秋冬どり(10月~3月収穫)	14	7	20.0	10.0		(2)
		春どり(4~5月収穫)	11	5	15.0	7.5		(10)
	ショウガ (根ショウガ)	露地・施設	12	6	25.0	12.5		(9)、(10)
	葉ショウガ	施設・露地	6	3	36.0	18.0		(9)
	すみれ菜 (スイゼンジナ)	夏秋作(5~11月収穫)	14	7	25.0	12.5		(3)
		冬春作(12~4月収穫)						
	タマネギ	秋まき春どり	18	9	16.0	8.0		(2)、(4)
	ツルムラサキ	露地普通	4	2	21.0	10.5		(4)
	トチュウ		6	3	10.0	5.0		(9)
	ニラ	露地・施設	18	9	45.0	22.5		(9)
	ニンニク	露地・施設	12	6	20.0	10.0		(9)
	葉ニンニク	露地・施設	6	3	45.0	22.5		(9)
	白ネギ	春まき年内どり	24	12	16.0	8.0		(2)、(10)
		夏まき年明どり			20.0	10.0		
		秋まき夏秋どり			18.0	9.0		
	葉ネギ	秋・冬まき(11~3月)	8	4	20.0	10.0	冬・春どり(1~6月)	(1)
		春まき(4~6月)	17	8			夏どり(7~9月)	
		夏まき(7月)					夏どり(7~9月)	
		夏まき(8~9月)	19	9	16.0	8.0	秋どり(10~12月)	
		秋まき(10月)			20.0	10.0	秋どり(10~12月)	
	ハクサイ	秋どり(10~11月収穫)	17	8	18.0	9.0		(15)
冬どり(12月~2月収穫)		16	8	18.0	9.0		(2)	
フキ		16	8	30.0	15.0		(9)	
ブロッコリー	秋冬どり(11~3月収穫)	18	9				(2)	
	春どり(4~6月収穫)	10	5	31.0	15.5		(10)	
茎ブロッコリー	秋冬どり(11~1月収穫)	11	5	37.0	18.5		(7)	
ハウレンソウ	秋どり	8	4	15.0	7.5		(1)	
	冬・春どり	6	3	20.0	10.0			
ミョウガ	露地普通	4	2	18.0	9.0		(4)	

静岡県の慣行レベル

作物名	品種、作型等		農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考		
			慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量		策定期等	
野菜類 (葉茎菜類)	メキャベツ	秋冬どり(11~3月収穫)	沖積・洪積	10	5	29.0	14.5		②
		秋冬どり(11~3月収穫)	海成砂質			39.0	19.5		
	モロヘイヤ	露地普通		8	4	20.0	10.0		④
		半促成(5~10月収穫)		7	3				
	ラッキョウ	促成(9~6月収穫)		10	5	35.0	17.5		②
		春どり(4~6月収穫)		14	7	30.0	15.0		⑦
	エシャレット	早だし(11~1月収穫)		16	8	30.0	15.0		③
冬春だし(2~4月収穫)									
レタス	年内どり		19	9	20.0	10.0		②	
	年明どり		15	7	26.0	13.0			
ワケギ	露地・施設		20	10	25.0	12.5		⑨	
トウガン	露地普通		16	8	25.0	12.5		④	
シントウ	露地普通		22	11	35.0	17.5	トウガラシを含む	④	
	半促成(6~11月収穫、海成砂土)		28	14				②	
エダマメ	露地普通、ハウス、トンネル		11	5	10.0	5.0		④、⑩	
サヤインゲン	露地・トンネル栽培		13	6	20.0	10.0		⑨	
サヤエンドウ	キヌサヤエンドウ	露地春どり、3~5月収穫		12	6	25.0	12.5		②
		露地秋どり、9~12月収穫		14	7				
		ハウス春どり、2~4月収穫		12	6				
サヤエンドウ	砂糖エンドウ(ハウス)	加温、12~5月収穫		20	10	19.0	9.5		②
未成熟ソラマメ	露地・施設	無加温、3~5月収穫		12	6	15.0	7.5		⑨
野菜類 (果菜類)	イチゴ	ハウス促成	壤質~粘質土	54	27	23.4	11.7	農業成分使用回数はランナーを切り離れた以降の育苗期間及び本ぼでの栽培期間が対象	②
		ハウス促成	砂質土			34.0	17.0		
	オクラ	露地普通		12	6	28.0	14.0		⑦、⑭
		トンネル早熟		14	7	28.0	14.0		⑮
	カボチャ	露地普通		18	9	20.0	10.0		④
		ハウス・トンネル	壤・粘質土	14	7	28.0	14.0		⑩
	ハウス・トンネル	砂質土	②						
	キュウリ	促成(2~5月収穫)		40	20	32.0	16.0		②
		半促成(4~7月収穫)		42	21				
		抑制(9~12月収穫)		44	22				
		露地栽培		30	15				
	スイカ	トンネル栽培(6~7月収穫)	黒ボク土	12	6	7.0	3.5		②
		トンネル栽培(6~7月収穫)	黄色土			8.0	4.0		
		トンネル栽培(6~7月収穫)	砂質土			22.0	11.0		
		ハウス栽培(5~6月収穫)	黒ボク土			5.0	2.5		
	ズッキーニ	露地普通		18	9	18.0	9.0		⑦
トマト	露地普通		40	20	21.0	10.5	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	④	
	ハウス無加温		34	17					
	促成(1~6月収穫)	壤質土	42	21					24.0
トマト	越冬長期(10~6月収穫)	壤質~粘質土	54	27	50.0	25.0	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	⑩	
	越冬長期(12~6月収穫)	砂質土			39.8	19.9		②	
	越冬長期(12~6月収穫)	壤質~粘質土			36.0	18.0		⑩	
	抑制(10~2月収穫)	砂質土			21.6	10.8		②、④	
	抑制(10~2月収穫)	壤質~粘質土			19.2	9.6		②	
中玉トマト ミニトマト	露地栽培		40	20	18.0	9.0		⑨	
	越冬長期(9~6月収穫)	壤質~粘質土			42.0	21.0		⑩	
	越冬長期(10~6月収穫)	砂質土	46	23	39.8	19.9		②	
		越冬長期(10~6月収穫)	壤質~粘質土			36.0	18.0		

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量	策定期等	
野菜類 (果菜類)	ナス	露地普通(5~7月収穫)	30	15	26.0	13.0	早熟栽培を含む	④、⑩
		露地長期栽培(7月~10月収穫)	40	20	50.0	25.0		⑩
		促成(11~6月収穫)	58	29	52.0	26.0		②
	ニガウリ	露地普通	14	7	30.0	15.0		④
	ピーマン	露地早熟・露地普通	27	13	27.0	13.5		④
		施設栽培	35	17	35.0	17.5		⑨
	マクワウリ	露地普通	13	6	10.0	5.0		⑦
温室メロン	春作(4~6月収穫)	16	8	14.0	7.0		②	
	夏作(7~9月収穫)	20	10					
	秋作(10~12月収穫)	18	9					
	冬作(1~3月収穫)	14	7					
野菜類 (根菜類)	カブ	露地・夏どり(6~8月まき)	8	4	4.0	2.0		②
		露地・春どり(4~5月まき)、秋どり(9月まき)			15.0	7.5		
		トンネル、ハウス・冬春どり(10月~2月まき)	11	5	20.0	10.0		⑩
	ゴボウ	冬春どり(2~6月収穫・砂質土)	8	4	30.0	15.0		③
		秋冬どり(10~12月収穫・黒ボク土)			13.0	6.5		
	ダイコン	年内収穫	10	5	16.0	8.0		②
		1~3月収穫	14	7	29.0	14.5		
		年内収穫	10	5	34.0	17.0		
		1月~5月収穫	14	7				
	葉ダイコン	施設春~秋収穫	7	3	15.0	7.5		⑦
ニンジン	春どり(4~5月収穫)	4	2	15.0	7.5		②	
	冬どり(10月~2月収穫)	7	3	16.0	8.0			
ハツカダイコン	施設春~秋収穫	5	2	10.0	5.0		⑦	
レンコン	露地	7	4	40.0	20.0		⑮	
野菜類 (その他)	まこもたけ	露地	3	1	23.0	11.0		⑪
	タケノコ	露地普通	1	0	33.0	16.0		⑬
その他の作物	ゴマ(子実)	普通露地栽培	2	1	10.0	5.0		⑩
	ひまわり(子実)	露地(子実用)	3	1	10.0	5.0		⑪
工芸作物	茶		12	6	40.0	20.0		①、④、⑮
果樹	温州ミカン	極早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	14	7	20.0	10.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、⑩
		極早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
		早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)			20.0	10.0		
		早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
	普通温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	17	8	22.0	11.0			
				普通温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)	30.0	15.0		
ハウスミカン	早期加温夏芽母枝	14	7	17.0	8.5		②、⑦	
	後期加温春芽母枝	10	5	20.0	10.0			

静岡県の慣行レベル

作物名	品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考		
		慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量		策定期等	
果樹	甘夏-肥沃土壤 (栽植本数60本/10a、目標収量5t/10a)	14	7	35.0	17.5	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、⑩	
	甘夏-普通土壤						②、④、⑩	
	夏みかん(露地)	14	7	35.0	17.5		⑨、⑩	
	ネーブルオレンジ	21	10	35.0	17.5		②、④、⑩	
	清見 (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	19	9	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩	
	八朔	19	10	30.0	15.0		②、⑩	
	レモン	17	8	30.0	15.0			
	ハウスレモン	20	10	35.0	17.5		③、⑩	
	日向夏 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩	
	はるか (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		④、⑦、⑩	
	伊予柑 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	21	10	35.0	17.5		②、④、⑦、⑩	
	ボンカン (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0			
	はるみ (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0			
	不知火	17	8	30.0	15.0		②、④、⑩	
	ハウス不知火	19	9	30.0	15.0		③、⑩	
	ダイダイ	16	8	35.0	17.5			
	文巨(露地)	17	8	30.0	15.0		⑨、⑩	
	河内晩柑(露地)	17	8	30.0	15.0		⑪	
	グレープフルーツ(露地)	19	9	30.0	15.0		⑪	
	スダチ	16	8	28.0	14.0		④、⑩	
	黄金柑	16	8	28.0	14.0		⑥、⑩	
	ユズ(露地)	14	7	28.0	14.0		⑨、⑩	
	せとか	18	9	30.0	15.0		⑩	
	きんかん(寧波金柑 露地)	10	5	8.0	4.0		⑪	
	はるひ(露地)	16	8	30.0	15.0		⑮	
	ブルーベリー 露地	10	5	8.0	4.0		④、⑪	
	食用桑 露地	7	3	15.0	7.5		⑨	
	ブラックベリー 露地	6	3	15.0	7.5		⑨	
	イチジク		18	9				②
		柵井ドーフイン・施設	11	5	20.0		10.0	⑤
おうとう 露地	20	10	15.0	7.5	⑨			
カキ	次郎・四ツ溝(肥沃土壤)	18	9	17.0	8.5	②		
	次郎・四ツ溝(普通土壤)			20.0	10.0			
ウメ		13	6	15.0	7.5	②		
スモモ		14	7	14.0	7.0	②		
モモ		20	10	12.0	6.0	②		
キウイフルーツ		14	7	18.0	9.0	②		
クリ		10	5	12.0	6.0	④		
くるみ 露地		6	3	8.0	4.0	⑨		

静岡県の慣行レベル

作物名	品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
		慣行の回数	5割減の回数	慣行の使用量	5割減の使用量		策定期等
果樹	ナシ	幸水・豊水	29	14	20.0	10.0	②
		新水・暮水	34	17			
		ハウスナシ	18	9			
	びわ	田中・露地	8	4	25.0	12.5	⑨
	ブドウ	ハウス栽培	20	10	8.0	4.0	②
		屋根掛け栽培	25	12	10.0	10.0	
	リンゴ		28	14	15.0	7.5	⑤
オリーブ	露地	14	7	16.0	8.0	⑮	
未成熟パパイヤ	露地	12	6	20.0	10.0	2年生作物として栽培。	⑪
	無加温ハウス	8	4	16.0	8.0		
花き類・観葉植物	コデマリ	ビニル加温促成	35	17	25.0	12.0	⑪
		ビニル無加温半促成	35	17	25.0	12.0	
		露地	35	17	25.0	12.0	
	トルコギキョウ	加温超促成栽培	41	20	12.0	6.0	⑬
		加温促成栽培	41	20	12.0	6.0	
		無加温半促成栽培	41	20	12.0	6.0	
バラ	ハウス加温	61	30	46.0	23.0	⑬	

(注)合成樹脂フィルム上に薬剤を塗布した防除資材(ラノーテープ)は、使用した回数をカウントする(野菜類で適用)

- |                |                 |                |
|----------------|-----------------|----------------|
| ① 平成15年度策定     | ⑦ 平成21年度追加・見直し  | ⑬ 平成30年度追加     |
| ② 平成16年度追加・見直し | ⑧ 平成23年度追加      | ⑭ 令和元年度見直し     |
| ③ 平成17年度追加     | ⑨ 平成24年度追加・見直し  | ⑮ 令和4年4月追加・見直し |
| ④ 平成18年度追加・見直し | ⑩ 平成25年度追加・見直し  | ⑯ 令和5年3月追加・見直し |
| ⑤ 平成19年度追加     | ⑪ 平成27年度追加・見直し  |                |
| ⑥ 平成20年度追加     | ⑫ 平成28年7月追加・見直し |                |